

市長への手紙

—貴重なご意見をまちづくりに活かします—

市民皆さんとの協働による「住みよいまちづくり」の推進と、多様化する市民ニーズを的確に把握して市政に反映させるため、市ではさまざまな広聴活動を展開しています。

その中のひとつである「市長への手紙」は、昭和55年から実施されていた「市長へのはがき」を、より利用しやすい封書形式に変更したもので、市民皆さんの生の声を市長へ気軽に届ける手段として、今年度から活用していただいています。

今号では、平成20年度から平成22年度までにお寄せいただいた貴重なご意見をお知らせします。

北方領土問題をテーマにした 壁新聞の巡回展示について

(平成22年11月16日受付)

北方四島交流センターに展示されている、札幌の小学生が製作した北方領土問題についての壁新聞は、書いてある内容がとても分かりやすく、本人の感想も、「日本とロシアの話し合いのきっかけになるのでは」と思われるものです。

現在、メドベージェフ・ロシア大統領による国後島訪問などで、北方領土問題への関心が高まっています。多くの方に見ていただくために、市役所ロビーなどでも展示をしてはどうでしょうか。

この壁新聞を多くの市民に見ていただき、北方領土問題への理解を深めてもらうことは、非常に重要であ

ると考えています。そのため、ご提案のとおり、平成22年12月10日から30日の期間で、市役所ロビーにおいてパネル展を実施しました。

今後、北方領土返還要求運動の原点の地として、早期の北方領土問題の解決に向けた国内外世論の結集に全力を尽くします。

根室のバスにも ラッピング広告を

(平成21年10月15日受付)

根室市を訪れた観光客などにも「さんま水揚げ日本一」をPRするため、地元のバスにラッピング広告をしてはどうでしょうか。

市では、札幌市電および千歳空港と札幌市内を結ぶ空港路線バスへの「根室生サンマ」PRラッピング広告を実施しました。また、平成17年

「市長への手紙」の流れ

- ①寄せられたご意見は、初めに市長が目を通します。
- ②手紙は広報広聴担当に回り、内容により担当部署へ回付、意見等の状況把握とその回答をまとめます。
- ③広報広聴担当を經由し、その処理・回答内容について市長の指示を仰ぎます。
- ④市長名の回答文書を、広報広聴担当から送付します。
(匿名以外の手紙は、必ず回答文をお送りします。)

「ふまねっと運動」の 普及を

(平成21年11月16日受付)

「ふまねっと運動」は、高齢者の歩行機能の向上や脳の健康に効果的だと聞きました。

この運動が、広く普及されるよう